



大分県は15日、県内の5月の延べ宿泊者数が前年同月に比べ89.0%減の4万4474人になり、調査を始めた2006年以降の最少を3カ月連続で更新したと明らかにしました。

①県内の延べ宿泊者数が3カ月連続で最少を更新した理由は何ですか？



5月県内宿泊89%減

3カ月連続最少更新

県は15日、県内の5月の延べ宿泊者数が前年同月に比べ89.0%減の4万4474人(速報値)になり、調査を始めた2006年以降の最少を3カ月連続で更新したと明らかにした。新型コロナウイルスの緊急事態宣言が書き入れ時のゴールデンウィークを直撃。5月14日に県内への宣言が解除された後も、旅行を控える消費者マインドを受けて自主休業を続けた旅館ホテルが多かったのが響いた。

これまで1カ月当たりの延べ宿泊者数は4月の約6万5千人が最も少なかった。5月はさらに約2万人落ち込み、コロナ禍の深刻な影響が浮き彫りになった。前年同月比では36万457人減った。

メインの日本人客は県境をまたぐ移動自粛の影響で前年同月を29万7399人(87.0%)下回り、過去最少の4万4296人。

前年の地域別で最も多い8万6千人が訪れた福岡県

②5月の延べ宿泊者数は前年同月比で何人減りましたか？
このうちメインの日本人客の減少の状況は？

からは82.9%減の1万4768人。福岡、大分両県以外の九州は6万人から89.5%減り、6322人だった。関東の客も5万1千人から92.0%減の4099人にとどまった。大分県内は76.5%減の1万1538人。

「旅行者向けの旅館ホテルが休業する中、宿泊者の多くはビジネスホテルの利用者だった」と県観光政策課。

外国人客は6万3058人(99.7%)減の178人で、ほぼ皆無の状態。調査のサンプル数が少なく正しい推計ができないため、国・地域ごとの実績は明らかにしていない。

同課は「感染防止に努めた結果だが、大変厳しい数字だ。6月は営業を再開する宿泊施設の動きや移動自粛の段階的な緩和もあり、上がってくるのではないかと話した。」

宿泊者数は県が観光統計の一環で調べている。毎月、従業員10人以上の県内の主な施設(170カ所)を対象に実施、推計している。

(渡辺天祐)



③担当の県観光政策課は今回の調査結果をどう受け止めていますか？また、6月の見通しについては何と話していますか？

.....

.....

.....

.....

.....

.....